

リモートシャックとパソコンのリモート操作

JJ1SXA/池

私も、SXB もリモートシャックが免許されている、免許を申請した頃は、デスクトップ 2 台とノート 1 台の 3 台体制で、それでも足りない時は、SXB 専用のノートも借りて 4 台体制で運用、デスクトップ 1 台は完全に無線用にしていた。

リモートシャックは、本来は、旅行に出かけた時の自分用にと免許を受けたのだが、何故かその頃からは、遠方への旅行の機会が減り、利用する機会が無くなった。

リモートシャックのため、パソコンのリモート操作をやる必要があり、いろいろ試行錯誤をした、最初は「TELNET」を利用しようと思ったが、当時契約していたプロバイダーが「TELNET」の使用は禁止状態だった、なんでもある会員が「TELNET」でチョンボをしたらしい、勿論原因は、「TELNET」のセキュリティの甘さにあったようだ。

「TELNET」が駄目なら、セキュリティが強化された「SSH(Secure Shell)」と思ったが、「TELNET」も「SSH」もコマンドプロンプトでコマンド入力での操作なので一寸面倒臭いので、ソフトを利用することにして模索し、「VNC(Virtual Network Computing) …後継は UltraVNC」に行き着いた。

その後、遠方へ出かけてリモートシャックを使う機会も無く、eQSO や Wires のノード局も止めて、パソコンも無線専用が無くなり、パソコンのリモート操作も必要が無くなってしまった、ただし、JR2CTR 局が 2 エリアから、JA1VWB 局が W から、リモートシャック利用で JJ1SXA のゲスト OP として、240 のロールコールにチェックインする機会も増えたが、パソコンのリモート操作は無しというか、私が代行でリモート操作(無線機の電源オン・オフや周波数設定等)をして利用するようにした。

パソコンのリモート操作は無しでの利用だったので、イマイチ、「リモートシャックでゲスト OP 運用」が余り理解してもらえず、もっぱら「スカイプ経由」という概念しか無かったようだ、コールサインの呼称は本来なら、例えば、W6/JA1VWB 局なら「JJ1SXA のリモートシャックのゲスト OP、W6/JA1VWB」だ、リモートシャックの音声用に、スカイプを使っているだけのことから、スカイプ経由と呼称するのは間違いだ。

話戻って、パソコンのリモートの件、狭いシャックにモニター 2 台はきつく、1 台のモニターを兼用で使うため、切り替え機で手動での切り替えもやったが、あまりにも原始的なので、ここはやはりソフトの出番、「VNC」を使用、後日「TeamViewer」に変えた、「TeamViewer」は、企業向けの有料ソフトだが、個人利用に限って無料で公開している優れたもののソフトだ。

色々変遷はあったが、今はパソコンのリモートは、パソコン 2 台をモニター 1 台で使うための利用だ。

(2025 年 1 月記)